

海上保安体制強化の取組状況

海上保安庁
平成29年12月18日



最近の我が国周辺海域の状況

北朝鮮関連

- ・北朝鮮漁船による違法操業（大和堆）
- ・飛翔体発射
- ・木造船等の漂流・漂着
- ・北朝鮮からの亡命
- ・不審船・工作船の出没



ロシア関連

- ・ロシア海洋調査船を確認（海洋調査は未確認）



ロシア・北方領土関連

- ・日本漁船の被だ捕
- （ロシア警備船による銃撃）



本州東方海域関連

- ・多数の外国漁船の活動



韓国・竹島関連

- ・外国漁船による違法操業
- ・日本漁船の被だ捕
- ・韓国法執行船との対峙
- ・外国海洋調査船による海洋調査



尖閣諸島周辺海域関連

- ・外国公船による領海侵入等
- ・中国・台湾活動家等による領有権主張活動
- ・外国漁船による領海侵入
- ・外国海洋調査船による海洋調査
- ・小型無人機（ドローン）らしき物体の飛行



南西諸島関連

- ・中国漁船の太平洋進出



小笠原諸島

尖閣諸島

沖ノ鳥島

南鳥島

離島・遠方海域関連

- ・中国漁船による違法操業
- ・離島への不法上陸



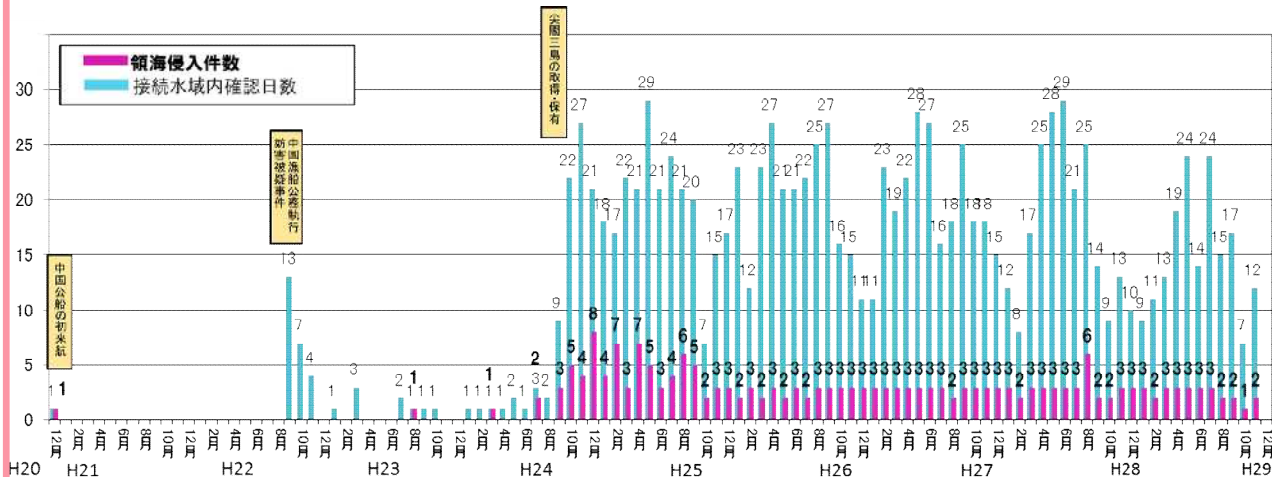
離島・遠方海域関連

- ・外国漁船による違法操業等
- ・外国海洋調査船による海洋調査



中国公船の増強・大型化・武装化

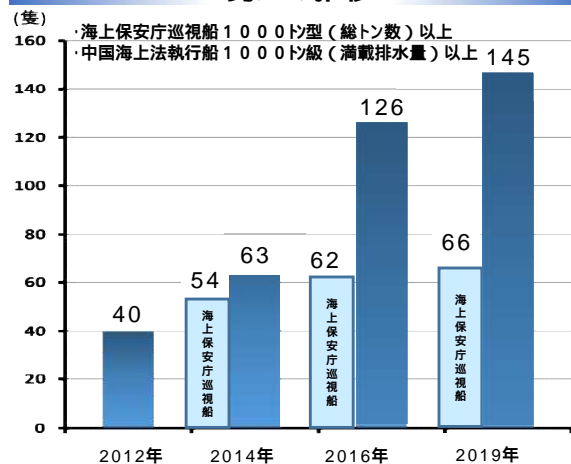
尖閣諸島周辺海域における中国公船の動向【平成29年12月1日0000時点】



平成28年9月以降、中国公船4隻による領海侵入が多く確認されるようになっている。
(近年は中国公船3隻による領海侵入が多く確認されていた。)

中国公船の勢力増強

勢力の推移



2017年6月末時点の公開情報を基に作成
(今後、変動の可能性あり)

中国公船の大型化・武装化



大口径の砲を装備した1万トン級中国公船



機関砲のようなものを搭載した中国公船

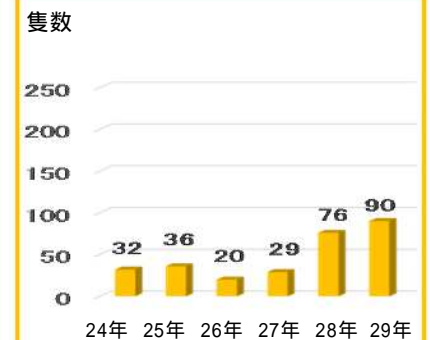
大量の中国漁船の出現等

【平成29年12月1日0000時点】

退去警告隻数(中国漁船)

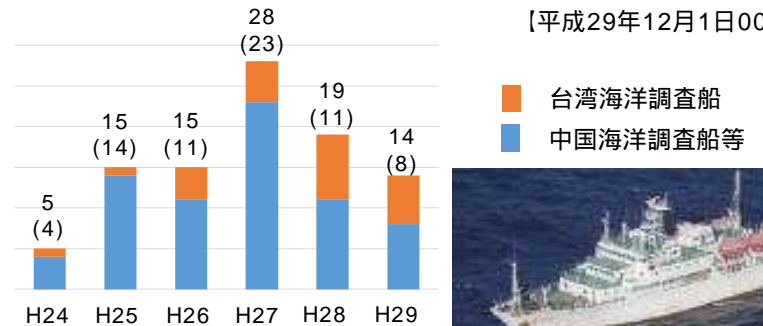


退去警告隻数(台湾漁船)



中国海洋調査船による海洋調査

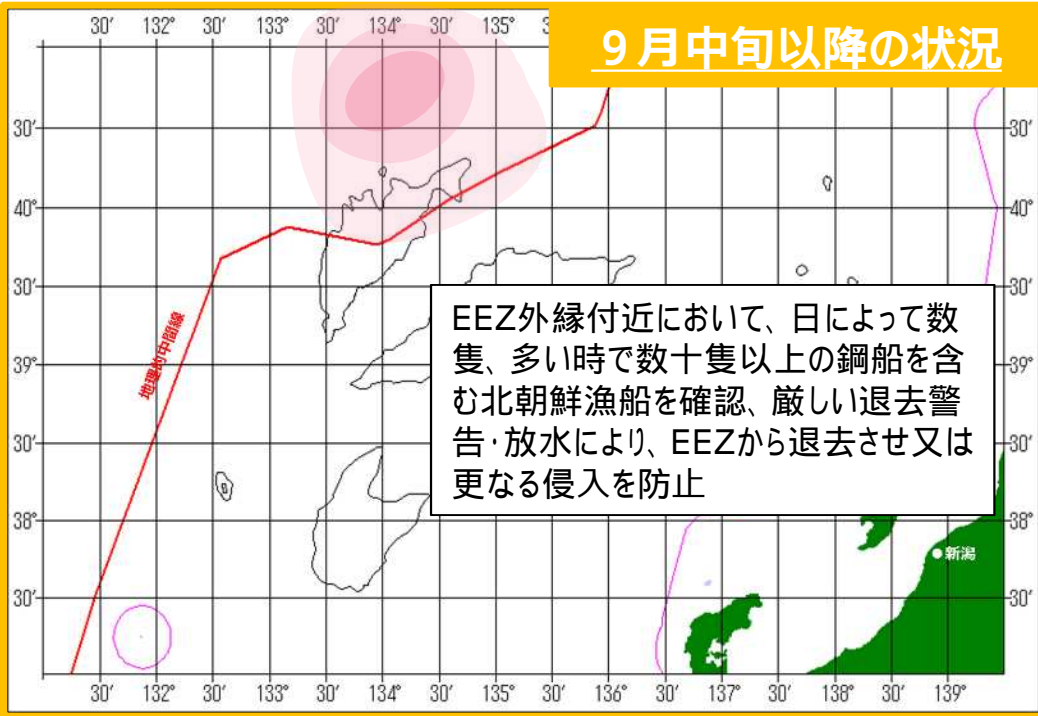
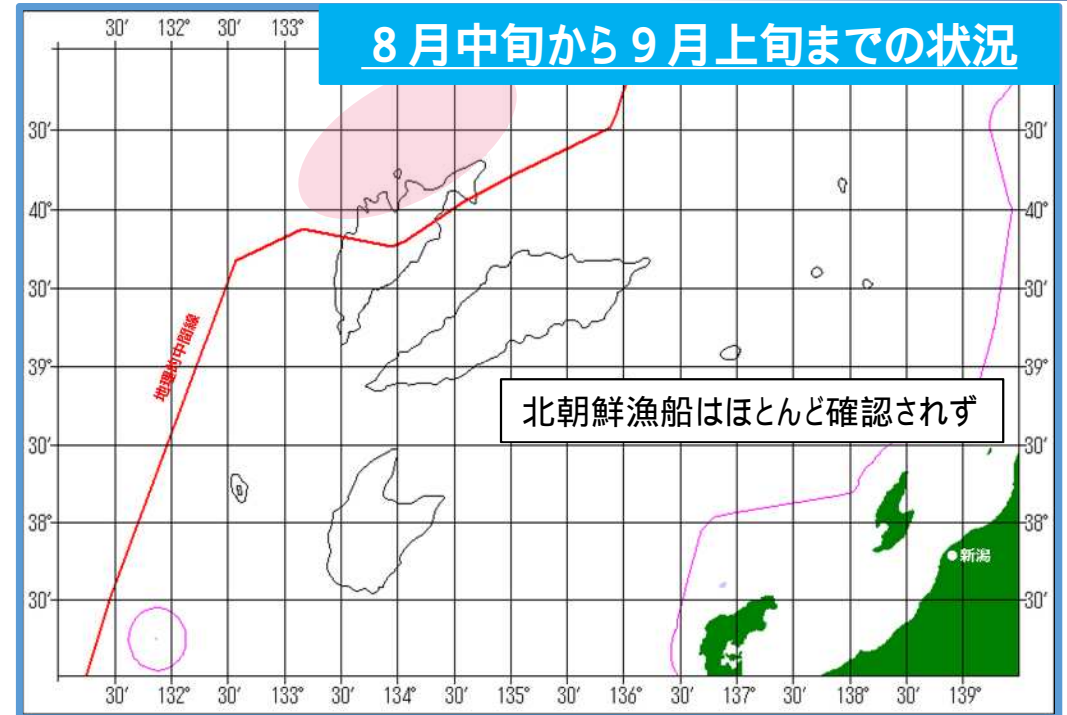
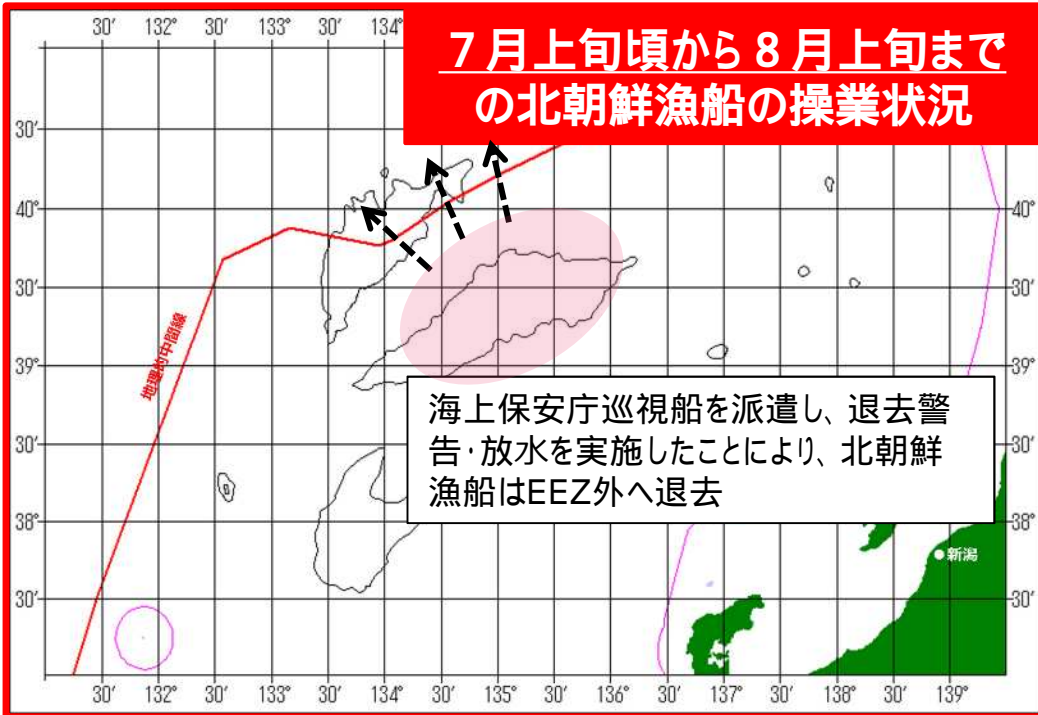
【平成29年12月1日0000時点】



海洋調査船による
我が国の同意を得ない海洋調査件数

()内は中国海洋調査船等の件数





【9月中旬以降の現場対応状況】



北朝鮮船（鋼船）の状況



北朝鮮漁船（鋼船）に大型巡視船が放水する状況

海上保安体制整備の進捗状況

海上保安体制整備（主なもの）の進捗状況について

事 項	体制強化の主な内容	既に着手しているもの	現在要求しているもの
尖閣領海警備体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国公船の大型化・武装化・増強への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ヘリコプター1機搭載型巡視船（2隻） ➢ ヘリコプター2機搭載型（1隻） ➢ 大型巡視船（1隻） ➢ 搭載機（3機） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ヘリコプター1機搭載型巡視船1隻（3隻目） ➢ 搭載機1機（4機目）
海洋監視体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 東シナ海、日本海の重点監視 ● 東シナ海列島線における外国調査船・漁船の監視 ● 映像伝送機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 新型ジェット機（1機） ➢ 監視拠点（20箇所） ➢ 映像伝送装置（9式） ➢ 衛星画像購入・分析 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 新型ジェット機1機（2機目） ➢ 監視拠点3箇所（21～23箇所目） ➢ 映像伝送装置2式（日本海側2式） ➢ 海上保安業務システム更新
原発等テロ対処・重要事案対応体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本海側における原発等テロ対処体制整備 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 大型巡視船（1隻） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 大型巡視船1隻（2隻目）
海洋調査体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 東シナ海における中国・韓国の対抗調査体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 大型測量船（1隻） ➢ 既存大型測量船の高機能化（2隻） ➢ AOV（16式） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 大型測量船1隻（2隻目）
基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 海上保安学校等教育訓練施設の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 小型ヘリ（1機） ➢ 学校プール通年化 ➢ 小型飛行機（5機） 航空機調達の見直しによる予算の有効活用で対応 ➢ 104人緊急増員 ➢ 338人増員（220人合理化等） 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 保安学校機能拡充 ➢ 定員493人要求（217人合理化）

「海上保安体制強化に関する方針」に基づき、我が国周辺海域における重大な事案に対応するため、海上保安体制の強化を推進
 概算要求382億円 定員要求493人（217人合理化）

尖閣領海警備体制等の強化



30当初 3隻目要求
 2隻着手済み

ヘリコプター搭載型巡視船PLH
 (ヘリ1機搭載)



1隻着手済み

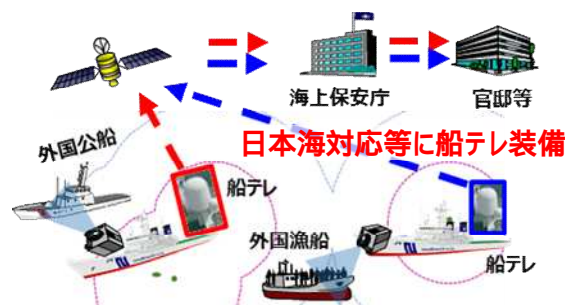
ヘリコプター搭載型巡視船PLH
 (ヘリ2機搭載)



1隻着手済み

大型巡視船PL

海洋監視体制の強化



30当初 2式要求
 9式措置済み

映像伝送機能等の強化



(イメージ)

30当初 2機目要求
 1機着手済み

新型ジェット機

尖閣諸島周辺海域を巡る情勢に応じ、応援派遣
 テロ・重要事案対応体制の強化



30当初 2隻目要求
 1隻着手済み

大型巡視船PL

海洋調査体制の強化



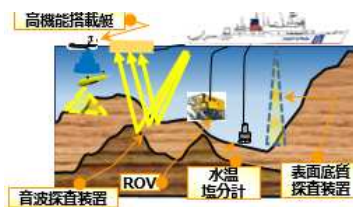
30当初 2隻目要求
 1隻着手済み

大型測量船



16式着手済み

AOV(自律型海洋観測装置)



2隻着手済み

既存大型測量船の高機能化

基盤整備

30当初 定員493人要求
 (217人合理化)

30当初 要求



教育訓練施設
 基盤整備